



# いっぽん!

## 第 12 号

■発行 伊藤ふみひろ後援会広報委員会 ■発行責任者 伊藤文博 ■連絡先 TEL 025-562-3988  
■公式ホームページ URL <http://www.fumihiro-ito.com> ■E-mail [f-ito@fumihiro-ito.com](mailto:f-ito@fumihiro-ito.com)

### 「」挨拶



党派：新政会  
所属委員会：  
文教民生常任委員会  
地域情報化調査推進  
特別委員会

平成二十一年の幕が開けました。皆様には、ご家族お揃いでよい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

地球温暖化の影響がいわれ、糸魚川の冬の様子にも影響が出ているのかなと思います。豊かな糸魚川の自然を大切にしていきたいと思います。

合併後、4年の節目を迎えます。新糸魚川市最初の4年間の任期を間もなく終えることとなりますが、あつという間でした。

青海町議会と糸魚川市議会の違いに驚きながらも即応を求められ、勉強を重ねながらやってきました。四年間を通して建設的姿勢を崩すことなく市長、行政側に常に前向きな提言を行って来ることが出来たと思っています。

思い返してみれば、議員になって僅か6年ですが、もう20年も経過したような気がします。中身の濃い年月だったということでしょう。

この6年間には色々なことがありました。個人的に最も大きい出来事は父の他界です。私の最も強い味方であり、最も熱心な支持者でもあった父を失ったことは、私にとっても家族にとっても、ショックな出来事でした。

父は、私の剣道場「直心館」で書道の指導をしていました。子ども達に剣道を教えている私にとって、道は違っても同じ志を持っていた父は手本となっていました。

私の子ども達は、父の書道の弟子でしたし、私の剣道の弟子でもあります。書を愛し、書道を、そして晩年は水彩画を愛した父の生き方は、多くの友人の皆様に支えられていました。損得の生き方ではなく、「義」と「愛」を重んじる心ある人生だったと自慢に思っています。



### 「親の徳が子どもに幸せを与える」

私はまさに、父の「徳」の恩恵を受けて生かされています。



父に負けない生き方をしたいと思っています。ですので、引き続き、皆様のご厚情、ご指導をお願いいたします。



### 平成 20 年 12 月 議会報告

#### ◆市長の行政報告から

(抜粋・要約)

#### I. 世界ジオパークへの取り組み

来(本)年2月には日本ジオパーク委員会による認証式が行われる予定で、その後、日本ジオパークになった地域で日本ジオパークネットワークを発足することになります。また、新潟県東京事務所のデスク

をお借りし、職員1名を派遣して、ジオパークを始めとした市の情報発信や、日本ジオパーク委員会、関係機関等への情報の提供・収集などを行って参りたいと考えております。



ジオパークに関しては、一般質問を行っていますので、後段をご覧ください。

## II. 糸魚川消防団、能生消防団、青海消防団の統合について

3消防団の統合につきまして、「消防団の組織は、当面は連合組織として統合を図る」としてきましたが、昨今の危機管理の重要性を鑑み、3つの消防団体制では指揮命令系統の一元化を図ることが難しいことから、この度、平成21年4月1日統合の目的をつけていただきました。新生糸魚川市消防団のさらなる

発展と飛躍を期待するものであります。



消防団の統合は、団員の皆さんにとっても念願事項でした。組織、制度の違いを乗り越えての統合に敬意を表し、より一層の防災体制強化に期待します。

## III. 総合経済対策について

国の補正予算で創設されました地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金は、国の施策に沿った総合対策を実施する地方公共団体に、人口や財政力に応じて配分されるもので、当市の配分額は上限3,000万円に対して約2,800万円であります。当市の総合経済対策につきましては、生活弱者や中小企業等への支援策など、12月補正予算に約1億4,000万円を計上し、約3億円の経済効果を想定いたしております。

①物価高に対する総合的対策  
昨年と同様に要援護世帯に対する灯油代等の助成、新たに子育て支援、教育支援として保育園や公園の遊具整備と小中学校の営繕などを行う。



### ②中小企業等への支援策

景気対策 緊急特別資金に借り換え枠を新設し、既存借入金の返済期間の延長、借入限度額の拡大、融資対象の要件緩和などを行うことで、約1億6千万円の融資枠を拡大する。

また、道路や学校修繕など平成21年度事業の早期発注をすることにより、中小企業の受注機会を確保する。

生活弱者への救済措置や中小企業への支援は、時機を得た大変重要な政策です。世界的不況が市民生活に与える影響はちよつと予想がつかないものがあります。国の定額給付金も政策としては色々な批判対象となっておりますが、支給されれば市民にとっては

有り難い臨時収入となり、生活面での大きな助けとなるでしょう。TVで放送される国民の声は都会の人間の意見ばかりで、地方・雪国の声はほとんど放送されません。報道のあり方には大きな疑問を感じています。

## IV. 総合計画の実施計画と中期財政見通しについて

アメリカの金融危機に端を発して、世界同時不況により、例年、議会最終日に配布していた、総合計画の実施計画を、事業全般に渡っての精査と、中期的な財政見通しが必要と判断し、今しばらく時間が必要であると。主な理由として

①市歳入の骨格をなす市税の減収傾向と交付税の先行きが不透明であること。

②新市建設計画・総合計画で想定していた事業に加え、国からの要請による学校耐震化の整備事業をはじめ、火葬場・新幹線などに伴う起債の増額により、財政計画の大幅な見直しが必要なこと。

以上により、今後、計画している事業で、節減、縮小、圧縮、先送りなど、早急に精査を行い、なるべく早く実施計画と中期財政見通しについて、お示ししたいと考えております。



事業見直しの一環として、懸案の健康づくりセンター（仮称）建設も検討対象となっています。

見直しの内容は、

①建設時期（第一期・二期分割等）

②経費の圧縮

「建設経費」「運転経費」の両面での検討（プール・子育て支援センターの先送り）

が考えられています。

私は、文教民生常任委員会において、

「景気の動向を踏まえて事業全般にわたっての検討を行うのは、厳しい財政状況下で当然のことである。しかし、健康づくりは長い将来にわたって影響を与える、保険制度の存続に関わる重要な事業である。安易な見直しで機能を低下させ、必要な条件を満たさない施設にならないように要望する。また、できるだけ計画通り早期の建設をお願いする。」

「姫川病院閉院の時は、大きな事業であった健康づくりセンターを先送りすることでクリアしたが、今回も安易に見直しの対象を、大きな事業であることだけで健康づくりセンターにするということのないように要望する。」

という趣旨の発言をしました。市民生活部長は「担当部署としては、計画通り実施したいのが本心ですが、財政状況を考えると見直しもやむを得ない。」

副市長は「中止するものではありません。計画通り実施したいので

すが、少しでも経費を抑えることが出来ないかという方向の検討をするのです。」と実施することは確認していません。

「これから、21年度予算編成のなかで検討されることになりま

すが、私もいい方向に向かうように努力したいと思いま

す。



### ■健康づくりへの期待

私は、昨年5月頃より、肥満を解消しよう！と一念発起しお金がかからないウォーキングを始めました。健康診断で、医師より「冬はどうするの？雪が降っても歩くの？」と言われてしまいました。

秋より、青海通り線を歩いていますが、田海川く青海事務所は街灯の数も少ないので暗く、危険を感じることもあります。これ以上街灯は増やせませんか？

また、以前、入善の舟見ふれあい温泉に行ったとき、足裏マッサージや乗馬マシン、マッサージ器が無料で使用できました。

「田海の『ふれあい』にも置いてあればお年寄りでも誰でも使用できるのに・・・」と思いました。手軽にお風呂に入る前や入ったあ

とに体を少しでも動かすことが出来る場を作って欲しいです。

糸魚川市 40代 女性

### 私の一般質問（12月議会）



### I. 教育充実への取り組みについて

糸魚川市の将来にとって、教育の充実は重要な課題です。9月定例会に引き続き、教育の充実への取り組みについて質問しました。

#### ①武道教育について

武道が必修化された背景にある、礼儀や伝統文化を伝えるという意志を、教育現場で実現するための仕組みづくりについてどのように計画しているのか。

新学習指導要領には、武道に関して新しく「伝統的な考え方」が入りました。

そこでは、「武道は、単に試合の勝敗を目指すだけでなく、・・・人間としての望ましい自己形成を重視するといった考えがあることを理解できるようにする。」と書かれています。

東海大教授山下泰裕さんが、教育現

場でそのことを実践するためには、「各武道団体が、対象者を経験者と未経験者に分けて、指導者の研修会などを開くべきだ。」と書かれています。

武道必修化を行った「思想」を教育現場で活かすための仕組み作り、武道関係者の一人としても取り組んでいきたいと思っています。

#### ②道徳教育について

全教員が協力して道徳教育を展開する必要があります。実効性のある教育をどのように展開するのか。

武道教育と同様に新学習指導要領では、「主体的に社会の形成に参画し・

・道徳的価値に基づいた人間としての生き方について考えを深められるよう配慮すること。」とあり全教員が協力して道徳教育を展開することが求められています。

#### ③教員の再教育について

OJT（オンザジョブトレーニング）職場内訓練の仕組みづくり、体制についてどのような考えか。

④上越教育大学との連携について  
同大学教職大学院との連携は、上越市、妙高市では盛んに行われているが、糸魚川市での取り組みはどうか。

各校における校長、教頭を中心とした指導体制だけではなく、市内に沢山いらっしやる教員OBによる指導体制の確立を提言しました。今後検討したいということで、平成21年度には予算計上されるかもしれません。

## II. 新幹線開業後に必要な変革について

新幹線駅の開設は、「100年、200年に一度の変革のチャンス」と言われています。言い換えれば「変革できなければ、転落の危機を迎える」とことになりまます。

2014年の新幹線開通に向けて、変革が必要です。「世界ジオパーク」認定は、その変革にとって重要なツールとなるでしょう。

ジオパーク認定後の施策は具体化されていませんが、来年秋季までの認定見込みを考えると、ジオパークに期待する市民に次の点について具体的に概要を示す必要があります。

- ① 具体的な施策
- ② 事業費の見込み
- ③ 交流人口の見込み
- ④ 経済効果の見込み



ジオパーク、ジオパークと言っていますが、ジオパークによって糸魚川市を何処にもっていくのか、将来像が全

く示されていません。

新幹線開通を前に何もしなければ「ストロー現象」(\*)により地域が衰退します。民間の「地域社会」「商工観光団体」「学術団体」3部門の精鋭に「糸魚川市」がコーディネーター役として加わり、ワークショップ方式で全体像を造り上げ、早く市民に示すように、そして、それを元に具体的施策に入っていく行動計画を策定実施するように提言しました。

現在の最大の問題点は、ジオパークによりつくり上げる「糸魚川市の全体像」が示されていないことにあります。

### ※【ストロー現象】

高速交通網などが整備され制約から開放されると、日常行為が最も影響を受け、地元住民は、より魅力的な商品や品揃えを求め、より多く良い仕事を求め、より良い学校に通学するため域外に出る。

その一方、域内への流入は殆ど増えず、非日常行為の観光客についても殆ど変わらないばかりか、むしろ宿泊や食事などの減少を招くことになり客単価が低下する面がある。

これらのため、より大都市へと購買力などが集中し、田舎側の地方都市は衰退する。

## III. バス路線改革後の市民の評価と今後の課題

10月1日より市街ループ線の運行を開始いたしました。広報9月号には、「より利用しやすい

い路線バスを目指して」とあります。

① 運行後の市民の評価と今後の課題はどうか。

② その課題に対してどのような改善していくのか。

新バス路線に対する市民の不平不満を多く耳にします。

糸魚川総合病院の無料送迎バスを廃止し、バス路線を大幅に見直してスタートを切った路線バスですが、課題は多いようです。

そこで「新政会」では、市街ループ線に試乗してみました。



青海地区大沢から市街ループ線経由で糸魚川総合病院まで試乗し、乗客の皆さんと意見交換もしました。所要時間50分余りの乗車時間でした。

その後、糸魚川バスを訪問し、意見交換しましたが、会社側も課題は認識していました。今回の一般質問後に社内での認識も高まったようで、検討委員会を社内に設けて、本格的に検討を始めたそうです。

### ■ 利用しやすいバス路線を

糸病より「糸魚川駅」と書かれたバスに乗車しました。

明星セメントが見えてきた時に思わず「このバス糸魚川駅行きですよね?」と確認しました。

運転手さんは、「ハイ最後糸魚川駅に行きます。これはこういうバスです。」とおっしゃいました。

「こういうバス」で片付けるのではなく、こんな意見があったと報告し、改善提案をしていただきたいと思えます。

これから高齢化が進むばかりです。乗客からの意見を吸い上げ、みんなの大切な無くてはならない足になって欲しいと願います。

糸魚川市50代 女性

### 編集後記

新年あけましておめでとございませす。世界経済に未曾有の経済危機が訪れています。

今年を占う意味で正月に神主さんに聞いて見たところ、初詣の方は前年より多く、賽銭も多いそうです。

曰く、困ったときの神頼み、景気が悪くなると神さんの景気はよいらしいですね。私も昨年より賽銭は多かったです。私を取巻く景気も悪いようです。2月の節分も豆の数が多くなりそうです。